



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆12月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいをしよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り 37号

☆今後の主な予定

- ・12月10日 面接練習
- ・12月17日 2学期終業日
- ・1月 7日 3学期始業日

☆一年二組 のむら あゆむ  
パトロールカーは、けいさつかんをのせてみんなのあんぜんをまもるしごとをしています。そのために車のいろは、わかりやすいようにしろとくろです。車の上には、サイレンがついていて、人を早くたすけるのです。



☆一年二組 あいざわ こう大  
レースカーは、レースをするしごとをしています。そのために、早くはしるよりに車たいをひくしたり、かるくしたり、早いエンジンにしたり、レースのようなタイヤをはいたり、たくさんかいぞうしてあります。



☆一年二組 おがた かいじ  
ごみしゅうじゅう車は、ごみをしょぶんしせつまではこぶしごとをしています。そのために、うしろにごみをつぶすローラーがついていて、いちどにたくさんのごみをはこぶことができるようにつくってあります。



☆一年二組 いち川 みう  
フルドーザーは、じめんをたいらにするしごとをしています。そのために、大きなショベルがついています。そのショベルでたくさんはこべます。



☆二年一組 堂浦 希帆  
わたしは、体そうでロープをのぼりました。これで二回目です。のぼるときはどきどきしました。だけど、さいごまで行ったら、みんなからはくしゅしてもらいました。とてもうれしかったです。おるときは、どきどきしました。なぜかという、するするすべるからです。一回すべりました。ところがどきどきしました。おるときはすごくうれしかったです。



☆二年一組 小針 未暖  
パパへ。  
いつも、おしごとがんばってくれてありがとう。パパがはたらいてくれて、るおかげで、お金をもらって、生活できています。おそくまではたらいでいて、つかれていると思ひます。だから、足をふみふみしてあげたいです。



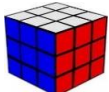
☆二年一組 村林 璃子  
お母さんは、りょうりがとくいで、はんをつくつくつてくれてありがとう。お母さんは、しゆくだいに丸をつけてくれるのでありがたいです。あと、ならいごとにおくつてくれるのとえいごを教えてください。わたしもお手伝いをします。



☆一年一組 おじいちゃんの犬  
ほくのおじいちゃんには、三びきの犬がいま。なまえは、シロとコマとサクラです。コマは、小さい犬です。サクラは、大きい犬です。コマは、けっこうほえます。でも、サクラは、あんまりほえません。ほんとうは六びきいました。でも、おじいちゃんの犬を三びきあげてしまいました。しほらくしてからじけんがおこりました。そのじけんは、犬がかってににげてしまいました。でも、となりの人につかまえてもらいました。それで、あんしんしました。



☆一年一組 キューブのおもちや 福田 りょう  
ほくは、いえてキューブのおぼけをつくりました。キューブのおぼけは、水をかけるとくっつきます。おぼけはくつつくの三十ふんかかります。おぼけのキューブは、手と足が小さいです。かたちは、しかくです。よるになると、ひかれます。ほくはおぼけよりもっとすごいキューブをつくりました。それは、ジバーヤンです。キューブはたのしいです。



☆四年二組 アップとルースの写真を  
使ったリーフレット作り

「全員で美しい音楽、オーケストラ部」  
「エイビスまりこ」

アップの写真は、わたしが自分のパートを練習しているところです。リハーサルの時にみんなと合わせてひけるように練習します。他の楽器やパートと合わせてひくので、自分のパートをきちんとひくことはとても大切です。ルーズの写真は、オーケストラ全員で練習しているところです。全員で協力し合って、美しい音楽を作るために、いっしょけんめいがんばります。このように、オーケストラ全体でお互いを聞きながら自分のパートをえんそうするのはとても楽しいです。



☆四年一組 アップとルースの  
写真を使ったリーフレット作り

美しいバレエの発表会 河浪 優花



アップの写真は、発表会の途中で踊っているところです。お客さんにきれいな見えるように背中を伸ばしたり、ひざを伸ばしたりして気を付けて踊るようにしています。バレエには、いろいろなポーズやわざがあります。例えば、「アラベスク」は、足を後ろに高く上げてそのまま短時間止めておくわざです。写真は「マッセ」というわざです。これも止めておくわざですが、足の形がちがいます。バレエでは、遠くからよく見えるようにこいメイクをします。それから、キラキラの衣しように着て踊ります。それから、アップの写真は、みんな息を合わせてるべくそえて踊っています。みんな踊っている時は、一人よりもそろえなければいけないので、必ずかいです。前の人を見てあわせたり、音をよく聞きながら踊っています。みんながそろっている場面はきれいな見えます。お客さんにきれいな踊りを見せたいから、たくさん練習します。私は、みんなのでいっしょけんめい踊ったり、かわいい衣しように着るのが好きです。

☆柿山伏を読んで 6年1組 松崎 結心

あらすじ【山伏は空腹のあまり、他人の柿の木に登って勝手に柿を食べてしまう。そこへ柿主がやって来て、山伏は見つかりそうになり木にかくれる。柿主は山伏のことを鳥だと言い、山伏を飛ばせた。飛べるわけのない山伏はけがをして、柿主に看病をしろと言った。柿主はしかたなく看病をしに行こうとするふりをして、山伏をその場にふり落とし、去って行った。】

もし私が山伏だったら、うそをついたりせずに正直に柿を食べたことを言い、許してもらい、二度としないようにする。もし私が柿主だったら、山伏をせめずに、きちんとぬすんだ理由を聞き、注意して許してあげる。私はこの物語を読み、「悪いことをすれば必ず悪いことが返ってくる」と思いました。その事から、逆に「良い事をすればよいことも返ってくるのかなあ」と思ったので、狂言が伝えようとしている事は、みんながみんな良い事をすれば、思いやりのあるだれも傷付かない世界になる、と思いました。

☆柿山伏を読んで 6年1組 大幡 蘭

あらすじ【山伏は空腹のあまり、他人の柿の木に登って勝手に柿を食べてしまいます。そこへ柿主がやって来ます。そしておこり、柿主をせめます。柿主にからかわれた山伏は、木の上で言われるままに必死になって、カラス・サル・トビのまねをします。山伏は必死に自分の罪をおおいかくそうとするのです。】

もし私が山伏だったら、人の家の柿をそもそも食べようともしません。空腹だとしても、まず柿主に聞くと思います。柿主に聞く前に食べたのだから、せめられてもおかしくないと思います。もし私が柿主だったら、ものすごくおこっていると思います。なぜならば自分で作った柿を勝手に食べられたからです。もし山伏が聞いてきたのならば、話は別です。しかし、聞く前に食べたのだったら、ものすごくおこっています。この狂言が伝えようとしていることは、人の物を勝手にぬすんではいけない。悪いことをしたら、必ず自分に返ってくるのが言いたかったのだと思います。

☆柿山伏を読んで 6年1組 山内 絢加

あらすじ【山伏は空腹のあまり、他人の柿の木に登って勝手に柿を食べてしまいます。そこへ柿主が見回りに来て、山伏がいるということに気付き、柿主が鳥類畜類などに例えたりしてこらしめるお話です。】

もし私が山伏だったら、あやまってゆるしてもらうか、もしかしたら山伏と同じように自分のつみをかくそうとするかもしれないです。もし私が柿主だったら、大切に育てた柿を勝手にとって食べられたから、とてもおこるかもしれないし、こらしめたりもすると思いました。この狂言が伝えようとしていることは、だれの身にも起こるようなことをお話で伝え、時代がちがうと考えもちがうけど、昔の人は今の人と同じようなことがあったんだ、ということをお伝えしようとしていると思います。

☆柿山伏を読んで 6年1組 出口 華蓮

あらすじ【山伏は空腹のあまり、他人の柿の木に登って勝手に柿を食べてしまいます。そこへ、柿の持ち主がやって来て、山伏を見つけます。柿の持ち主にからかわれた山伏は、木の上で言われるままに必死になって、からす・さる・とびのまねをします。このお話は、悪いことをした山伏が柿主にこらしめられるお話です。】

もし私が山伏だったら、勝手にとって食べないで、柿の持ち主に「おなかがすいているので、柿をもらってもいいですか。」と聞いてから食べます。もし私が柿主だったら、「こら、何してるの。」と大きな声で注意します。この狂言が伝えようとしていることは、だれの身にも起こり、だれもが経験しそうな出来事をえがき、人間はかしこさもおろかさもみな同じように持っているのだから、それを理解していれば、いたわり合いながら仲良く楽しく生きていける、という事です。

